



日和佐中通信

2025(令和7)年9月

第5号

発行責任者:影田博徳



2学期がスタートしました

長かった夏休みも終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休み中は、大きな事件・事故もなく2学期始業式を迎えることができました。これも保護者の皆様が、それぞれのご家庭において、子どもたちの生活を温かく支えてくださったおかげであると思っています。また、お忙しい中にも関わらず、個人面談にご出席いただき、本当にありがとうございました。

今年の夏は連日報道されたように、全国的に記録的猛暑が続きましたが、その暑さにも負けず、毎日の部活動の練習や大会、3年生においては体験入学や質問教室で子どもたちの頑張る姿が見られたことを嬉しく思います。本当にお疲れ様でした。

9月に入り、朝夕にはわずかですが秋の気配を感じられるようになりましたが、まだまだ残暑の厳しい日は続きます。今日からの「ゆっくりスタート」の期間中に、生活リズムを整え、心身ともに健康な学校生活が再スタートできるようにしてほしいと思います。2学期は体育祭や文化祭をはじめ、各種大会等、多くの行事が目白押しです。これらの活動を通し、子どもたちが達成感や連帯感を感じ、学校生活が楽しく充実したものとなるよう、教職員一同取り組んで参りたいと思います。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

夏休み中の目中生

夏休み中も様々な場面で日中生の活躍が見られました。郡内の各中学校生徒会と交流を図った生徒会トレセンや、新チームでの初めての公式戦大会。また、愛媛県で開催された四国総体陸上競技には県代表として4人の選手が出場しました。猛暑にも負けず最高のパフォーマンスを発揮し、自己ベスト更新や男子2年1500Mでは3位入賞を果たしました。第65回海部郡中学校生徒弁論大会では、部活動での先輩とのかかわりや、家庭での母との会話の中から感じたことや、考えたことをもとに、自分自身に向き合い、より深く掘り下げて考え、堂々とした態度で自分の思いを伝えてくれました。そして見事最優秀賞を受賞しました。会場まで応援に来てくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



おつかれ
さまでした!